2004（平成16年）12月発行

中城村　見つめよう　わたしたち　みんなのぎかい

議会だより

題字：與那覇 朝徳 議員

4人でハッスルハッスル　中城小学校“運動会”

目　次

■ 6月定例議会　2
■ 平成16年6月定例議会一般質問　4
■ 平成15年度決算　9
■ 平成16年9月定例議会一般質問　11

第10号
平成16年
6月・9月議会

〒901-2493 沖縄県中城村字当間176番地　TEL895－4318　FAX895－4358
発行／中城村議会　編集／編集特別委員会　印刷／沖印社

可決

平成16年度一般会計補正予算（第1号）

補正額 8,447万1千円を追加　予算総額 51億4,003万4千円

歳入:電源立地地域対策交付金　4,987万7千円、繰入金　1,628万8千円の増
コミュニティー助成事業補助金　1,740万円の増

歳出:コミュニティー育成事業補助金　1,740万円、戸籍住民基本台帳費　1,316万1千円の増
道路新設改良費　4.459万7千円（伊舎堂前原線）、振興計画策定委託費　560万円の追加

・電源立地に関する、初期段階における地域対策交付金事業の活用について、地域対策交付金は特定財源としての目的交付税であり、電源立地地元の地域振興事業に地元住民の合意形成の上からも最優先に活用されるべきではないかとの意見がありました。採決の結果、5人の委員が議場を退席して全会一致可決されました。

可決

平成16年度老人保健特別会計補正予算（第2号）

補正額 1,077万1千円を追加　予算総額 12億3,918万5千円

歳入:国庫負担金　834万6千円、県負担金　242万5千円の増でいずれも過年度収入分
歳出:償還金　401万4千円、一般会計への繰出金　675万8千円の増

可決

平成16年度水道事業会計補正予算（第1号）

収益的支出：営業費用 201万9千円を追加　予算総額 3億8,424万8千円

歳出:職員給与　155万4千円、排水及び給水費　46万5千円の増

否決

中城村住民投票条例制定（案）

村長は、中城村・北中城村の2村合併の是非を問う住民投票条例制定の請求を受けたが、本条例は制定する必要はないとの意見書付けで議案を付議した。議会は、村長の意見書を妥当と認め、全会一致で本義案を否決した。尚、審議に先立ち、議会において請求者代表の島袋稔氏による意見陳述が行われました。

採択

義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書

義務教育費国庫負担制度が廃止されれば、負担金に見合う財源が確保されず、現在の教育水準の維持もできない状況になりかねません。
国の責務である教育水準の最低保障を担保するため、必要不可欠な義務教育国庫負担制度を堅持すること。又、学校の基幹職員である学校事務職員・栄養職員を同制度の対象職員として引き続き堅持することを強く要請する。

議会だより特集 合併期日変更

平成17年3月31日の合併期日を平成17年9月5日に修正

変更理由　（平成16年5月26日に公布された合併の特例に関する法律）

※平成17年3月31日までに合併の申請を県知事に行われたものについては、17年4月以降1年内の合併についても、合併特例法を受けることが出来る。

※電算システム統合に15ヶ月必要で、比較的住民生活に影響の少ない時期等を、合併期日として選定することが適切である。

合併スケジュール・合併期日変更

平成16年度（2004年度）							平成17年度（2005年度）						
9月 12ヶ月前	10月 11ヶ月前	11月 10ヶ月前	12月 9ヶ月前	1月 8ヶ月前	2月 7ヶ月前	3月 6ヶ月前	4月 5ヶ月前	5月 4ヶ月前	6月 3ヶ月前	7月 2ヶ月前	8月 1ヶ月前	9月	10月
合併協議				調印式	両村議会議決	県知事申請	総務大臣協議回答		県議会議決 県知事決定	総務大臣告示		合併期日	

平成16年第４回　８月臨時議会

可決　平成16年度一般会計補正予算（第2号）

補正額 300万円を追加、予算総額 51億4,303万4千円、主に通学用バス購入補助金による。

可決　中城村課設置条例の一部を改正する条例

吉の浦火力発電所立地に伴い、組織の執行態勢を強化し、事業の円滑な推進を図るため電源立地推進室を設置する。

可決　南上原地区築造工事（16-1工区）請負契約

契約金額 8,190万円　　契約の相手方　（株）新栄組。

可決　北浜地区基盤整備促進事業計画

当地区の排水路の整備により、浸食防止、農作物の被害防止を図るため。

採択　米軍ヘリコプターの墜落事故に対する抗議決議

去った8月13日に発生した、米軍へり墜落事故について、これまでも事故が起こるたびに再発防止を訴えてきたにもかかわらず、またしても事故が発生したことは極めて遺憾であり、米軍に対して強い不信感を抱くと共に、二度と事故が起こらないよう、厳重に抗議する。
本村議会においても、宜野湾市と隣接する市町村として大変な衝撃を受け、SACO合意の見直しや、辺野古沖移設の再考を求めた抗議決議をいち早く、全会一致で採択した。

一般質問

平成十六年六月定例議会

電源立地に伴う地域対策交付金

宮城治邦議員

宮城治邦議員　電源立地をサポート、円滑に推進するために、電源三法交付金制度があります。その中の地域対策交付金とは初期段階における目的交付税だと認識をしております。その目的と交付対象地点はどのように記述されているか。

村長　電源三法の骨子を読んで見ますと、発電所周辺地域の整備や安全対策、周辺地域における公共施設の整備等を促進し、地域住民の福祉の向上や利便性、地域の活性化を目的とした事業を支援するとあります。これまでの交付金の活用は一方では目的に準じた活用の仕方と他方で、村全体が財政難の折、どうしてもこれで補わんといかない一面もあることをご理解頂きたいと思います。

宮城治邦議員　電源立地に関する地元連絡協議会が毎月一回の予定で開催しております。本会の要綱第三条第三項に、電源立地に伴う周辺の土地利用調整及び振興に関することという条項があります。これまで第三回開催されましたが、地域対策交付金の目的にある、要対策重要地点及び開発促進重要地点の地域振興事業が一度も議題に上がっておりません。最優先課題と思うが、何故か。

村長　宮城治邦議員は、一環して初期対策交付金の問題、地域の土地利用計画の問題、地域の不安解消の問題、公害防止協定の問題等を主張されておられます。それに対して事務局、私達村役場が対応できてないことへのもどかしさを感じていることが十分伝わって参ります。当局の進捗状況、取り組みの遅さというものは十分指摘を受けて反省することしきりであります。今後は地域振興計画に基づいてしっかりとやっていきたいと思いますので、これまでの不手際はお許しを頂きたい。

宮城治邦議員　私はこれまで公式、非公式に二年間電源立地に向けてプロセスを提示しながら大所高所から議論をして参りましたが、地元住民の合意形成には程遠い感想であります。中城村にとっては今が最も重要な時期であり、北中城村も合併に向け、強い関心を持っております。村長は今議会に提案されている、補正予算、電源立地等地域対策交付金を予算の組替えで軌道修正をし、目的交付税として電源立地地元の振興策として活用する考えはないか、補正予算の道路新設改良費四、四五九万円は起債事業としての考えはできなかったのか、村長の所見をお伺いします。

村長　私は今日まで地元を大事にします、地元の合意形成が最大の重要な問題でありますと答弁をして参りました。財政の事情によってこれまで課題として積み残した事業がありましたので、それに使ったということでございます。電源三法の趣旨とは何かということを改めて考え直した時に、宮城議員のおっしゃることが私はまだそこを真剣に考えていなかったことで自己反省もし、地元が大事だという認識には変わりません。これが結果と伴っているかと言われたら厳しい反省をしております。今回まではこのように使わせて頂き、次からの使途については十分その意図を組んでしっかりとフォローして、次に是非活かしていきたいと考えております。

宮城治邦議員　初期段階における地域対策振興目的の交付金（一億円）が平成十五年度、十六年度の公共事業に活用（執行）されましたが、その事業の内容が交付対象地点の電源立地を契機とした地域振興策になっているか。

村長　平成十五年度分の対象事業や平成十六年度の事業計画からして交付金の目的に準じた事業と、村全体を視野に入れた事業と両方に活用されております。

中城村道と潰れ地占拠

比嘉定榮議員

比嘉議員　①現在中城村道の本数と総面積、②総面積にしめる個人の土地（潰れ地）の面積と地権者の人数、③昭和五八年、五九年に百三十二路線の一括村道認定をした根拠、④北中城村との合併がさしせまる中、道路行政の解決（潰れ地保証等）はどう考えますか。

建設課長　①点目の村道本数は二百五十五路線、総延長が九万二百三十九メートル、総面積が五十二万百八十九平方メートルです。③点目の村道一括認定は、従来から維持管理をしていた集落道路等を自治体と協議の上、村管理にして整備、

簡易舗装、改良舗装、あるいは側溝等の整備を図るため一括して認可されています。昭和五十八年に七十八、路線総延長が二万千百九十九メートル、五十九年に五十四路線、一万三千九百六十六メートルが認定されています。

村長　潰れ地占拠の問題は、面積が五万平方メートル以上、地権者が二千人以上、道路台帳からおしはかるとそうなります。中城村に限らず、全県的な傾向であり、解決までには相当の時間を要するものと思われます。

④点目の道路行政、道路問題は北中城村も本村同様の状況を抱えているようです。これは合併後の重要課題として引き継がれていく問題だというふうに引き継ぎ事項の中にも出てくる問題だと認識しております。

バスケットボールの復活

比嘉議員　昔は、スポーツといえば中城、特にバスケットボールは中城中学校の全盛期もありました。二千十年全国高校総合体育大会（インターハイ）の沖縄県開催が決定しております。中城村としての選手の育成、

会場等の提供はどう取り組みますか。

教育長　小学校では校区ごとに、ボランティア活動の皆さんが中心となり、ミニバスケットボールが大変盛んに行われています。中学校では先生方、育成者のご協力により直接その指導にあたっております。更に全国大会で活躍している本村出身の仲村直人選手もおり、オリンピック候補選手として一生懸命頑張っております。次に会場（体育館）については、老朽化で痛みが激しく、天井や横壁からの雨漏りがあり、その使用に関して大変支障を来している状況です。

村長　黄金時代は中城中学校は男子四連勝、女子五連勝という事で優勝旗は常に職員室にあった時期がありました。合併への問題も含めて北中城村と中城村は覇を競った中です。特に北中城高校は昨今のバスケットボールはめざましいものがあります。これを絶やさないように、伝統をしっかり守り発展させる認識で方向付けてまいりたいと考えています。

北中城村との合併

仲　村　春　光　議員

春光議員　これまで七回協議が開催されたようですが、村民にはどのように協議がなされ、どこまで遊んでいるか情報が少なく、分かりにくいとの声が聞こえます。これまで協議項目は問題なくスムーズにすり合わせが出来ているか伺いたい。

村長　現在、四十四協定項目中、確認済み十二項目、継続中五項目、今後二十七項目が残っている現状です。住民参加をはかるための時間も必要で、期限も迫る中で慎重を要する要請もあるので時間との勝負です。

構成市町村の利害調整という一面も当然含んでおり、利害関係が絡むと、スムーズにいかない面もあると思う。元は一つの自治体であったし、消防・清掃事務組合、城跡の共同管理等、歴史文化伝統も共有し、他市町村の合併に比べるとハードルは低く、誠意を尽くせば十分克服できると考えています。

春光議員　合併後は市政か、町政かで採決の結果市政に決まったようですが、真に町政より、市政がよいのか？

村長　人口三万人以上は特例によって市として認められます。全国的にも協議中の自治体で、九十九％。百％が市政を施行しています。

スポーツ振興

春光議員　村民が気軽に参加出来る健康維持の事業として、どのような事業を計画しておられるか、スポーツ教室の開催状況は、予算措置の対応は十分なされているとお考えか。

村長　他市町村も全て補助金、助成金は縮減をしていく方向にあります。体育振興の重要性を認めながら現状は大変苦しく十分とは決して言えないと、考えています。

生涯学習課長　村民軽スポーツ大会を十月に予定し、保健課とタイアップの事業で、健康体操教室を十一月に予定、新春マラソン等、その他です。

春光議員　村民が安心出来るような施設の維持管理はできているのか？

生涯学習課長　屋外運動公園、野球場、遊び場等の管理に日々雇用で二名、体育館、吉の浦会館は週一回です。

財政状況が厳しく二名に減っています。

生涯学習課の職員も時々、維持管理をやっています。

歴史の道整備事業

春光課長　平成十五年度は新垣集落内の整備がなされましたが、十六年度以降の事業計画を伺いたい。

生涯学習課長　歴史の道、整備事業は文化庁補助事業と、内閣府補助事業で進めています。教育委員会は文化庁補助事業で十六年度阪田道、新垣グスク内の区間でグスク北側、古屋敷跡等整備予定区内の詳細設計、写真測量、一部路線の保存整備工事です。

十八年度を目途に終了致

します。十九年度から二十三年度までにバンジュ道を整備する計画です。

春光議員　建設課の担当する部分の計画はどうなっているか伺います。

建設課長　建設課は内閣府の世界遺産周辺整備事業で、歴史の道整備事業を担当しています。十六年度は新垣阪田線終点近くから県営公園の境界線まで予定しています。

平成十七年度は大瀬線の一部、二百五十メートルを予定しています。

電源立地

安里　ヨシ子　議員

ヨシ子議員　東海産業から綿久までの海岸沿を工場適地として指定するとの事ですが具体的計画について伺います。

村長　工場適地指定については、仮受付の段階、具体的にこれからです。

ヨシ子議員　指定された場合工場がくる、地域住民に今まで以上の迷惑をかける事になるのでは。

村長　指定の問題でまた企業がくるのかという事ですが火力発電所を誘致する際に企業を誘致して農業、工業、商業の第一次、第二次、第三次の産業のバランスのとれた地域の発展を遂げようという事で誘致は従来からの課題であった。指定する場合、関係産業の誘致になりますが、物事には全て相反するもの相対的立場にある、住民の皆さんと相談しながら進めていきたい。

ヨシ子議員　反対、賛成があって当然とのお考えですが、村民全体の利益のためには強行に進めても良いという事ですか。

村長　全て全会一致であればそれにこした事はない。物事に対し百パーセント同一方向は難しい。百パーセント賛成にはなりえない。

ヨシ子議員　電力予定地周辺の環境整備について伺います。

村長　地域振興計画を策定し、それに基づきながら進めていきたい。

ヨシ子議員　電力と住民地域の間を緑地公園にする考えはないか。

村長　グリーンベルト、バッファゾーンは必要と考えています。

ヨシ子議員　住民の避難場所はどこに想定していますか。

村長　避難場所、公害防止協定等、住民としっかりと相談しながら進めていきたい。

伊舎堂前原線の河川の整備

ヨシ子議員　住宅地より川の方が高くなっている、工事が続くと住宅地域に被害が出る恐れもありいきなり工事が始まっていたという事にならないよう区民、周辺の皆さんに説明会を持ち十分な協議をしてから進めてほしい。

建設課長　地域の皆さんに説明会等、意見も反映していきたい。

公立保育所の整備計画

仲　眞　功　浩　議員

仲眞議員　三公立保育所の状況と整備計画はどうなっているのか。

村長　三保育所とも随時補修はしているが、老朽化が著しく、優先して解決すべきものであると考えている。ただ合併を間近に控えており、一元化等を勘案して、できるだけ早めに北中城村の保育行政とのすりあわせを行ない、合併後速やかに改築できる状況を整えたい。

仲眞議員　村長は老朽化しているのは認め、それに対して修繕で対応してやっ

検査とか、耐震検査とか、そういうものに基づいて修繕でいけると判断しているのか。

村長　平成十八年度から年次的に改築をしていくということで方針を決めている。耐久度調査は建築、建設を前提としているので、少し待てるのではないかということでいま補修でしのいでいる。ただいつ何時、事故が起こった時の対応をどうするかと考えた時には本当に危機感をもっておりますが、すぐには子供達に危害が及ぶような状況にはないのではないかという保育所を見ての感じです。

各種保育サービス

仲眞議員　本村の各種保育サービスの整備は相当に遅れていると言わざるを得ないが、各種保育サービスの現状と今後の実施計画はどのようになっているか。

健康福祉課長　現在、〇歳児から二歳児までの待機児童が十七名いて入園を待っている。障害児についてはこの前も認定会議がありましたが、二人が該当するということでいまから対応を考えていく。今後の実施計

画としては、平成十五年度四月に法律化された「次世代育成支援対策推進法」に基づいて実施していく。

生涯学習課長　放課後児童クラブの設置については、いまのところ取組みはやっていないが、今後は努めて実施する方向で進めていきたい。

認可外保育所への補助

仲眞議員　「中城村無認可保育所に対する補助金交付要綱」によれば、認可外保育園の補助として、賠償責任保険料が児童一人当たり百七十円以内で補助されるということになっているが、この補助は行われているか。

健康福祉課長　新すこやか保育事業からは保険は対象外ということで去年からは補助はやっておりません。

仲眞議員　財政が厳しいからと言って、補助金の根拠になっている要綱も変えないで、いきなり子供たちの安全に関わる大事な保険の補助金をカットするのは納得できない。

児童館の建設

仲眞議員　児童の健全育成や子どもの居場所づくりの活動拠点として、児童館の

果たす役割は大変大きなものがあると考えるが、児童館の建設計画はどのようになっているか。

村長　児童館の果たす役割というのは大変重要であると考えている。そこで今年九月までに策定される新市建設計画で、中城村は重要な合併の際の公共施設の一つとして、この児童館建設を位置付けていきたい。

仲眞議員　県下では四十以上もの立派な児童センターや児童館があり、中城村は相当に取り残されている。最低、中城小学校区域に一館、津覇小学校区域に一館、そして上地区に一館、計三館の児童館建設を実現させて頂きたい。

南上原土地区画整理事業

浜　田　京　介　議員

浜田議員　去った三月議会において村長は奇抜なアイデアを出して保留地処分にあたると答弁されたが、何らかの変化があったのか、あるいは何もしなかったのか、伺います。

村長　現在の環境条件の下では、かなりの難航が予想されるため、起債による事業推進をしてはどうか、今、検討に入っているところです。

浜田議員　事業を終了させるには、起債する方向で検討するのも、ひとつの道でしょう。しかし、どっちに

しろ保留地は早急に処分しなくてはならない、処分について専門家等との話し合いはやってきたのか伺います。

村長　三役や担当課でこの問題について話し合っているが、事業をストップさせないためにも、起債をして事業を推進していこうと考えております。

浜田議員　では何年後をめどに起債を考えているのか、伺います。

村長　補助金の執行率が百%に達するのが、平成十九年を予定していますので、その前には起債するということになります。

浜田議員　今後、順調に事業を執行していくためには、人員の問題もでてくると思うが村長の所見は？

村長　現在の陣容では、事業を推進していくためにはとてもじゃないが無理があると思っている。早急に準備をすすめています。

浜田議員　この南上原区画整理事業は、我々中城の将来を担う、住民の夢が凝縮された有望な地域です。より一層の当局の尽力を期待して、私の質問を終わります。

平成16年 第5回9月定例議会

平成１６年度一般会計補正予算（第3号）

補正額 3億4,353万9千円を追加　予算総額 54億8,657万3千円

可決

歳入：ゴルフ場利用税 2,800万円、地方交付税 9,632万円、国庫支出金 5,142万円、繰越金 2億2,687万9千円の増、県支出金 714万8千円、繰入金 5,193万2千円の減

歳出：財政調整基金 1億1,844万円、国民健康保険への繰出金 1億2,980万7千円児童措置費 3,339万2千円、防音工事費 5,695万8千円の増、身体障害者福祉費 2,640万1千円の減

平成１６年度国民健康保険特別会計補正予算（第１号）

補正額 5,023万円を追加　予算総額 17億563万3千円

可決

歳入：国庫負担金 1,193万5千円、一般会計繰入金 1億2,980万7千円繰越金 9,011万円の増、国民健康保険税 1億8,182万2千円の減

歳出：老人保健拠出金 988万9千円、介護納付金 1,205万3千円、償還金 2,822万円の増

平成１６年度土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）

補正額 280万6千円を追加　予算総額 10億8,463万7千円

可決

歳入：前年度繰越金 280万6千円の増

歳出：事業費 280万6千円の増

可決

平成16年度公共下水道特別会計補正予算（第1号）

補正額 221万9千円を追加　予算総額 3億4,968万6千円

歳入：前年度繰越金 278万2千円の増、一般会計繰入金 56万3千円の減
歳出：公共下水道費 25万7千円、公債費 196万2千円の増

可決

平成16年度水道事業会計補正予算（第2号）

資本的支出：建設改良費 200万円を追加　支出総額 1億1,936万5千円

平成15年度 一般会計歳入歳出決算

認定

歳入総額　50億8,200万1,543円
歳出総額　47億4,444万7,413円
差引残額　3億3,755万4,130円

・歳入総額 50億8,200万1,543円は対前年で約 2億3,235万円の増である。
　尚、歳出予算額に対する執行率は、92.0%で前年より2.4%の減である。
・地方交付税は、前年比で 2億2,936万円の減となっている。
・自主財源（村税）は、約 10億1,942万円で、歳入総額に対する率は20.1%である。
・主な財政力指数は、

実質収支比率	公債比率	経常収支比率	財政力指数
5.0%	11.2%	88.8%	0.39

指摘事項
・財政は厳しい。高金利の償還金の繰上償還や借り換えの手続きをする必要がある。
・予算の過大見積もりによる不用額や事業費の繰越額が年々増加し、予算の執行率が低下している。
　予算の見積もり精度を高めると共に、計画的な予算の執行が必要である。
・教育の充実を図るために消耗品費、備品費等の予算を増額すべきである。又、施設の維持管理の
　徹底が必要である。

平成15年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算

認定

歳入総額　17億3,730万2,582円
歳出総額　16億4,719万1,180円
差引残額　9,011万1,402円

指摘事項
・引き続き保険税の徴収に努力し、目標の徴収率93%以上を達成すること。又、不能欠損額が発生

しないように努力すること。
・医療費が年々著しく増加しており、予防事業の徹底推進を図り、医療費の抑制に努力すること。
・成人病予防対策として栄養士を確保し、栄養指導の徹底を図ると共に、普及事業を充実させること。

平成15年度 老人保険特別会計歳入歳出決算

認定

歳入総額　12億5,138万6,893円
歳出総額　12億5,567万2,786円
差引残額　▲ 428万5,893円

指摘事項
・老人医療費は年々増加傾向にあり、政策的に予防事業を導入し、老人の健康増進を図る必要がある。
又、地域ふれあい事業を各自治体に早急に導入する必要がある。

平成15年度土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算書

歳入総額　11億3,936万4,443円
歳出総額　9億1,868万1,296円
差引残額　2億2,068万3,147円

認定

特に留意すべき事項
平成21年度が事業の完成となっているが、計画に対する執行率が44.6%であるので、執行率を高める必要がある。したがって下記事項について、早急な対応が求められる。
①保留地販売を高めるため、東南側区画整理地域を優先的に工事を実施すること。
②保留地販売用チラシ及び立看板の改善。
③事業実施計画の見直しをする中で、公営企業債の計画的導入によって事業を活性化、販売促進を図るべきである。

平成15年度公共下水道事業特別会計

歳入総額　4億6,967万9,031円
歳出総額　4億6,689万6,236円
差引残額　278万2,795円

認定

特に留意すべき事項

事業が完成した地域は、早めに各家庭に接続させるよう努力する必要がある。そのためには

①貸付金制度の啓蒙と借入金手続きの簡素化を検討すべきである。
②地域推進委員の設置を検討すること。
③指定業者による営業活動の強化。

平成15年度水道事業会計歳入歳出決算書

歳入総額	3億6,690万9,230円
歳出総額	3億5,742万9,427円
差引残額	947万9,803円

認定

特に留意すべき事項

①有収率が年々低下しており、その対策を図る必要がある。
②消費税の導入について検討する必要がある。
③第6次水道事業整備計画が作成されているが、実行可能な計画に見直す必要がある。
④未収金は、固定化しないよう回収に努力する必要がある。

一般質問

平成十六年九月定例議会

和宇慶土地改良区に隣接する土地

安　里　ヨシ子　議員

ヨシ子議員　南浜八一番地が土地改良事業により目くら地となっていますが何故か。

村長　和宇慶地区土地改良区が責任をもって解決すべき問題、村として地主と改良区との仲介役を果たし、工事が速やかに解決できるよう支援協力すべきだと思っています。

建設課長　昭和五九年に圃場が完成した。土地改良以前と改良後の図面を見た場合、従前は道路に沿っていた土地であるが道路部分も改良区に入っていて、八一番地は改良区外になっている状況であり、改良区の方で誠意をもって道路の付替えに努力をしている。

ヨシ子議員　土地改良をやる時、図面を広げ一つ一つチェックしていくと思います。その土地が目くら地になると予想しなかったのか。

建設課長　和宇慶地区の場合は県営事業として施行され、地権者等が幾度となく協議をかさねて事業が進められてきた経緯があります。当初その土地は改良区内として事業が進められたが途中、南西石油の特別防災区域となると区域内に入っているという経緯もあり、隣接していた道路は改良区に編入した。

ヨシ子議員　南西石油から防災区域の話などなかったという事です、昭和六一年頃農業委員会より、貴方の畑は荒地になっているけどこれでいいのかとの文書が来ていたという事ですが、その時農地であると認識していたと思いますが。

建設課長　改良区にも編入、防災区域に入っていたりいろんな経緯がありますが、その時は農地であると認識していたと思います。

ヨシ子議員　里道を廃止する時は隣接する地主に了解をもらうべきだったと思いますが。

建設課長　完了後二〇年も経過している状況であり、正確な情報は把握していません。一事実を認識致しまして改良区として最大限努力している途中であり、付き替え道路ができるようバックアップはやっていきたい。

ヨシ子議員　里道を廃止した責任は村当局にあると思います。

村長　完全に組合施行でやっているわけですから、組合側が第一義的責任はあると思っています。地主と組合と村が仲介役をしてうまく妥協点が見つかるよう精いっぱい努力をしていきます。

ヨシ子議員　今まで二十年以上も目くら地にされていた経緯もあり、できる限り地権者の希望に添うような方向に持っていってほしいと思います。

河川、排水路の整備

仲宗根　哲　議員

仲宗根議員　北浜、南浜集落の河川や排水路の海岸出口付近は、普段からゴミや砂が推積し、排水が悪く、台風や大雨が降るたびに畑が冠水し、農産物に多大な被害を与えております。また現在、設置されている鉄管パイプは古く、その機能が十二分に発揮されていない状況にあり、今後、異常気象による高潮位現象や大雨、台風の度重なる接近等々を考えると、早急に取り組まなければならない重要な問題だと思いますが、今後の村の対応と整備計画について伺いたい。

村長　特に排水機能の悪い箇所から順次改善していけるように、財政状況もみながら担当課とも相談をしていきたい。

建設課長　高潮位現象によって、南浜、北浜を問わず、村域の海岸沿いではそういった形で砂が推積し排水機能が非常に悪い箇所がたくさんありました。その箇所によっては是非整備をしていかなければならない箇所もございますので、鋭意努力して参りたい。

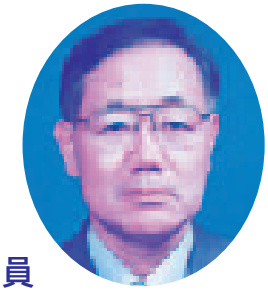
仲宗根議員　津覇、久場の排水路も、危険な状態であると私は見ております。そこに子供達が落ちたら本当に人命にも関わります。日頃の田園文化村という名称のイメージが悪くならないようによろしくお願い致します。

建設課長　排水路の整備等も平成十六年度から事業着工に入ります。今後また調査設計等も入れますので、その状況等を勘案しながら整備に力を入れていきたい。

仲宗根議員　今度の一号、二号排水路工事の末端はどうなっているか伺います。

建設課長　事業計画であり、概略ということでございますので、今年度で調査設計を入れまして、末端の排水機能の改善が是非必要という結論に達すればそれに向けて努力をし、改善をしていきたいと思っております。

公立保育所の整備計画



仲眞功浩　議員

仲眞議員　十八年度から公立保育所の整備計画があると答弁していますが、いくつの保育所、どの保育所を何処に建設しようと計画しているのか。

村長　上地区に一つ、下地区に一つとすれば三保育所が二つに統合できる。あるいは、財政上一つに統合する案も行財政検討会では話が出ている。いくつ造るかを最初に決めなくてはならないと言うことで、今、場所の限定はまだの状況です。

仲眞議員　平成十四年三月に策定した「中城村行政改革実施計画」の中で、三保育所の統合については行財政検討委員会（外部委員会）に諮問し検討を進めるとなっているが、運営（公営民営）や建設計画について、その委員会での話し合いは行なれたか。

村長　庁内での話し合いは行っておりますが、外部を含めた検討委員会にはまだ上程していない。

仲眞議員　合併が云々の問題ではない。危険な状態を承知しているなら、放置しないで安心して子どもが保育所に預けられる状況を早急に作っていただきたい。

認可外保育所の認可化

仲眞議員　村の保育所レベルを上げるには、認可外保育所の認可化が大事です。民間から申請が上がってくるのを待つのではなく、村が積極的に指導して取組んでいくように方針転換してほしい。県の支援計画とも連帯させながら政策として取組んで頂きたい。

村長　健康福祉課も認可化促進の啓蒙・啓発活動はまだしていない。認可して初めて子どもたちのバランスのとれた健全育成が出来ることですので、資料提供、情報提供をして認可化への船足が早まるように努力していきたい。

認可外保育所への補助

費用が一般財源化され、公立保育所と認可外保育所の補助金格差が更に大きくなった。公立保育所一人当たり百万円に対し、認可外保育所は一万円未満である。

健康福祉課補佐　損害賠償責任保険については、安心して保育するためには大変重要ですので、予算を計上して対応していきたいと思っている。

行政監査

仲員課員　行政監査において、試査、精査はどのようなものを対象に行っているか。

代表監査委員　月例の現金出納監査におきましては、預金の保管状況は精査で、伝票関係は試査で行っている。決算監査につきましては精査で行なっております。その中の事務的な監査につきましては試査で行なっています。

仲員課員　個人のオーバータイムが千五百時間とか二千時間もあるとかで一般質問でも問題になりましたが、労務管理についても精査すべきだと思いますが。

代表監査委員　決算監査時に年休や手当ての問題等についても一応確認しております。振替の休日の充当や人事異動による課の移動等で実際には相当問題があると言うことは認識している。村長には労務管理の徹底という形で答申する。

東陽バス 59番新垣線

浜田京介議員

浜田議員　地域協議会において路線廃止等について話し合いがあったようだが、その詳細について伺います。

企画課長　東陽バスから59番新垣線の今年中での路線廃止が提案されております。

浜田議員　来年四月からの公立高校区域の自由化に伴い、普天間高校へ通う生徒が増えると思われるが、村長の意見を伺います。

村長　普天間高校生も増え、乗車人数も増えることを考えると大変困る事態である。

浜田議員　廃止が困るということであれば、行政支援も含めた何らかの対策が必要だと思うが、村長の考えは？

村長　とにもかくにも関係地域の皆さんを集めて住民説明会を開きたい。

浜田議員　有償バスの活用や、乗り合いタクシー等、いろんな可能性を探るために、組織化された委員会を立ち上げたらどうか。

村長　浜田議員のおっしゃるとおり、十月をめどに組織化し、十月のうちに第一回対策協議会を開きたいと思っております。

市町村合併

浜田議員　新聞報道によると、北中城との合併が難しくなってきたとあるが、どういうことか。

村長　本村南上原の保留地の問題や、水道料金、保育所の建て替え等が問題として上がっている。

浜田議員　本村議会においても合併論議は議会を二分するほど激しい議論がくり広げられてきました。もしこの合併が失敗すると村長にも大変大きな責任があると思うが、村長の決意のほどを伺います。

村長　重大な責任を負っていると考えております。と同時に議員の皆様も同様に、総意であると考えております。

浜田議員　村長、議会は議会で責任のとり方は我々で考えます。村長自身、この合併が失敗した時には、改めて村民にその信を問う考えがあるか伺います。

村長　今の質問はちょっと時期が早いのではないかと感じます。

浜田議員　私は村長を辞めなさいと言っているわけではありません。村長が辞める覚悟で事をすすめるのであれば、我々もそれだけの腹をくくりますよということです。あえてお聞きします。合併が失敗に終われば、村長をお辞めになる覚悟で事をすすめていくのかどうかをお伺いします。

村長　合併がまだ破綻したわけでもなく、進行中でもありますので、ここで明確な答えを出せというのは酷ではないかと考えております。

浜田議員　私は村長が不退転の決意とご自分の退路を断って臨むぐらいの気概をもってやるのが首長の仕事だと思います。そのへんをふまえて、事にあたることを期待して、私の一般質問を終わります。

他に子育て支援等についての質問もありました。

地元住民との合意形成

宮　城　治　邦　議員

宮城治邦議員　電源立地等地域対策交付金は電源立地の初期段階における法律の趣旨、目的に合致したものとは思いません。これまでの電源立地の経過状況からして地元住民の合意形成が得られているか。

村長　これまでも委員からご指摘を受けており、今後は法の趣旨、目的に添って地域振興に活用していくよう今、諸事業を進めている所であります。電源立地が進捗する過程で派生する諸問題については誠意を持って住民との合意形成に努めてまいります。

宮城治邦議員　今後、電源立地を促進する上で、地元に対して地域振興策の具体的な実施計画を何時までに提示できるか。

村長　発電所予定地における地域振興計画の策定を始めました。コンサルにお願いをして、作業中であります。地域対策交付金活用計画の案も出来ており、具体的に久場前原概略設計の補正予算も計上して作業が始められております。

土地利用検討委員会

宮城治邦議員　村土の均衡ある発展を図る目的で中城村土地利用検討委員会が設置されております。電源立地を要請されてから周辺の土地利用計画が検討された経緯があるか。

村長　現在委員もご承知のように電源立地の土地利用についてはコンサルに委託して鋭意進めているところであります。

企画課長　電源立地地域の土地利用につきましては、まだ具体的に発議がされていませんので、審議はまだ行っておりません。

宮城治邦議員　電源立地と周辺の土地利用計画は表裏一体のものと考えるが、また、発電所の安全神話は必ずしも万全ではありません。発電所に有事がある際の住民の安全を確保するための避難場所は考えているか。

企画課長　電源立地が具体的に進んだ段階で、電力との協議等を踏まえて村の総合防災計画の見直しが必要だというふうに理解しています。

宮城治邦議員　村民の願いは平和で安全で安心して生活できる住み良い環境が理想的な生活環境だと思います。国策である地方分権、三位一体改革による地方交付税の減額、国庫補助金のカット等、地方行政にとってはまさしく正念場を向かえていると思います。本村は将来の展望を開く為にも北中城村との合併、電源立地は最重要課題であります。村長は電源立地の地元住民との課題について、どのような政治的判断で対応されていくのか、お伺いします。

村長　電源立地については地元の過去の事例を踏まえて、最大限地域住民の意向を大事にしながら、本村の将来にとって明るい展望を開く、自主財源の確保と安定財政、そういう意味で何としても誘致したいということでありますので、私は地域住民の意向を聞きながら電力ともうまく接点が見つかるものと思って一生懸命努力することを誓います。

年金の保険料引き上げ・給付の削減をやめ、安心できる年金制度の確立を求める意見書

採択

・本委員会は、平成16年9月7日、常任委員の出席を求め、慎重に審査を行った。その審査過程において、各委員からの意見については、下記のとおりであります。

（イ）無年金者、定額年金者をなくすためにも改革はすべきではない。

（ロ）国民年金の一元化を図り、支給額を増額させるべきである。

（ハ）消費税への増税はすべきではない。

（ニ）改正された制度を早急に見直すべきである。

平成16年第５回中城村議会定例会提出案件一覧表

平成16年9月10日

議案番号	議　　案　　名	
議案第35号	中城村漁港管理条例の一部を改正する条例	可決
議案第36号	中城村法定外公共物管理条例の一部を改正する条例	〃
議案第37号	平成16年度中城村一般会計補正予算（第３号）	〃
議案第38号	平成16年度中城村国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	〃
議案第39号	平成16年度中城村土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	〃
議案第40号	平成16年度中城村公共下水道事業特別会計補正予算（第２号）	〃
議案第41号	平成16年度中城村水道事業会計補正予算（第２号）	〃
議案第42号	中城村道路線の変更認定	認定
議案第43号	中城村道路線の認定	〃
議案第44号	津覇地区団体営かんがい排水工事（２工区）請負契約金額　5,092万5千円、契約相手方（株）興建	可決
議案第45号	南上原地区築造工事（16-2工区）請負契約金額　5,092万5千円、契約相手方（有）星城建設	〃
議案第46号	中城村固定資産評価審査委員会の選任	承認
諮問第１号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める	〃
認定第１号	平成15年度中城村一般会計歳入歳出決算認定	認定
認定第２号	平成15年度中城村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	〃
認定第３号	平成15年度中城村老人保健特別会計歳入歳出決算認定	〃
認定第４号	平成15年度中城村公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	〃
認定第５号	平成15年度中城村土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	〃
認定第６号	平成15年度中城村水道事業会計決算認定	〃
報告第７号	平成15年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告	

可決

津覇地区団体営かんがい排水工事（2工区）

請負契約金額 5,092万5千円　契約相手方 （株）興建

可決

南上原地区築造工事（16-2工区）

請負契約金額 5,092万5千円　契約相手方 （有）星城建設

承認　中城村固定資産評価審査委員会委員

住　　所：中城村字登又119番地
氏　　名：与那覇　朝　輝
生年月日：昭和18年3月29日　生

承認　人権擁護委員

住　　所：中城村字和宇慶632-3番地
氏　　名：新　垣　盛　文
生年月日：昭和17年5月1日　生

平成16年第6回　臨時議会（平成16年11月24日）

可決　議案47号南上原地区築工事（16-3工区）
請負金額 9,607万5千円　契約相手方 （株）興建

可決　議案48号南上原地区築工事（16-4工区）
請負金額 5,040万円　契約相手方 （有）北浜土木

可決　議案49号村道大瀬線改良舗装工事
請負金額 7,728万円　契約相手方 （株）山内土木

町村議会議員・事務局職員研修

十月二十七日浦添市民会館大ホールにおいて「日米地位協定の考え方」の検証と地位協定に向けた今後の課題について、講師新垣勉氏（弁護士）。自治体行政のガバナンス「地方議会のこれから」講師中邨章氏（明治大学大学院長・政治学部教授）の研修会が行われた。

飯岡町・中城村友好交流町村宣言調印式及び祝賀会

平成十六年十月五日、中城村吉の浦会館において、千葉県飯岡町と我が中城村との間で友好交流町村宣言調印式が行われました。比嘉盛安議長が挨拶を致しました。

町制施行百十五周年・新町制施行五十周年記念沖縄飯岡友好交流記念碑

合併説明会

平成十六年九月二日（木）議会委員会室において、全員協議会が開催された。

全議員出席のもと、中城村・北中城村合併協議会事務局より、合併協議会における協定項目の審議の進捗状況についての説明を受けました。説明の後、質疑応答が行われ、合併についての認識と現状の把握、情報共有が図られた。

編集後記

野山にススキの穂も咲き、空にはサシバの鳴き声も聞かれ、秋のおとずれを肌で感じるこの頃です。

村民のみなさん議会だより十号をお届け致します。

議員、議会事務局職員を対象に毎年二、三回沖縄県町村議会議長会主催で研修会が開催されています。近年研修会の内容は、国、地方財政問題や、地方自治行政運営が中心的テーマです。今、中城村が進めている合併も予想される厳しい財政の打開策でもあります。合併で議員定数の半減、事務経費軽減で財政のスリム化を目指しています。一方埼玉県でのある自治体は厳しい財政下で小学校一、二年生を対象に一クラス四十名から二十五名学級を導入し、保護者からよろこばれている自治体もあります。職員数の不足分は単独で時給制で雇用して充ているそうです。

徹底した情報公開と共有化、そして住民参加型で住民主体の行政運営を目指す時代の到来です。地域住民が雇い主であり、議会人、行政マンは雇われの身である。